

洋上アルプス

平成23年2月5日

平成25年12月3日
林野庁屋久島森林環境保全センター発行

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦1577-1

TEL 0997-42-0331 FAX 0997-42-0333

NO. 191

ホームページアドレス <http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/syoukai/hozentop2.html>

屋久島生態系モニタリング

屋久島中央部の植生垂直分布調査 (平成19年度調査)

※平石周辺(1700m付近)の植生と植物相
平石周辺は、森林限界付近に相当し、ヤクシマダケ群集となっている。

矮小化したスギ（樹高3.5m以下）、ヤクシマシャクナゲ（樹高1.7m以下）、ヤクシマダケ（高さ0.5~1m）がほとんどを占め、疎開した歩道沿いに、イトススキ、サルトリイバラ、ヤクシマミヤマスミレ、ハイノキ、コメススキ、ヒロハノコメススキ、スゲ属、ヒメカカラ、ツクシゼリ、コケスミレ、イッサンキンカ、ヒメコナズビ、アリノトウグサ、チャボシライトソウ、コツクバネウツギ、ヤクシマニガナなどが出現する。

岩上には、イワガラミ、ヤクシマホツツジ、ナナカマド、アクシバモドキ、ヤクシマミツバツツジなどが見られる。



屋久島森林管理署では平成二二年度治山事業として、種子島を含め建設物五件、森林整備物三件を発注します。そもそも、皆さんは「なにとつて治山事業とはなんの?」と思われる方が多いかと思います。そこで少しありがて紹介します。



宮之浦岳(211)治山事業

屋久島森林管理署 治山事業

す。いに
き努
まめ
取組みの発表
いたしました。この保安林機能が衰退した時または衰退する恐れがある時に治山事業として治山工事・森林整備事業を施行します。写真は白谷川下流の治山工事の様子です。溪床の安定を図った疏通工・流路工護岸工などに被害を与える恐れがある旨の地元の要望に応じて、次も治山事業を掲載です。

すて減被よ種含力今署森
いに害り対め捕後で林屋
き努のシ策た獲もは管久
まめ軽力に各をシ、理島



取組みの発表

平成23年2月5日

平成25年12月3日
林野庁屋久島森林環境保全センター発行

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦1577-1

混充島東黒官都満人島吉良道浦1077-1
TEL 0997-42-0331 FAX 0997-42-0333

久島と種子島のみに自生する五葉松「ヤクタネゴヨウ」（屋久・種子葉）は皆さんもご存じのとおり「絶滅危惧種」としてレッドデータブックに記載されています。害も鎮静化していますが、種子島では以前として被害が後を絶ちません。このため、林野庁では平成十八年に、ヤクタネゴヨウ調査隊等の協力もあつて、早稲田川周辺に自生するヤクタネゴヨウを「植物群落保護林」として設定するところに、保護林を維持管理していくます。また、屋久島森林管理署では松く定めています。虫被害を防止するため、屋久島森林管理署では松く定めています。



作業の状況



今後も貴重なヤクタネゴ
ヨウを健全に保護するた
め、継続的に事業を行いな
がら維持管理に努めます。

第一回シカ捕獲業務検討会開催（COP1）



オガタマノキ (モクレン科)

暖帯・亜熱帯の常緑高木で、島根県・千葉県以南に分布する。神社境内によく植えられる。神社境内に多い。花期は赤紫色(一月)から紫(二月)までである。葉の川沿いに大木が見られる。花の香らる。



2011・国際森林年

国際森林年記念

屋久島森林環境シンポジウム

「屋久島世界遺産の危機と保全」

— ヤクシカによる被害の現状と共存を考える —

1 趣旨・目的

屋久島世界遺産地域及び周辺地域において、ヤクシカの過剰な採食圧により、貴重な生態系や生物多様性は深刻な影響を受けています。

固有、希少な植物種やその他の植物の減少・消失、これらを食餌資源・生息地とする昆虫類等の減少、花之江河などの高層湿原における湿原植生の減少・劣化等が見られます。

このようなヤクシカの過剰な採食圧により危機的状況に陥っている屋久島の生態系や生物多様性等の維持・回復を図っていくためには、植生の保護とともにヤクシカの捕獲による頭数調整を早急に行っていく必要があります。

また、これらの対応に当たっては、屋久島町民をはじめ、屋久島世界遺産に関わる多くの方々の協力を得て、協働して対応していくことが肝要です。

のことから、本シンポジウムでは、現在、ヤクシカが屋久島世界遺産地域等の貴重な生態系や生物多様性に与えている影響等について講演をいただき、今後の対応策について議論を行うことを通じて、この問題への理解を深めていただくことを目的にシンポジウムを開催します。

2 日 時：平成23年3月6日（日） 13:00～17:00

3 場 所：屋久島町安房総合センター（電話：0997-43-5900）
鹿児島県熊毛郡屋久島町安房187番地1

4 テーマ、内容

「屋久島世界遺産の危機と保全」～ヤクシカによる被害の現状と共存を考える～

① 第1部／報告・講演

- 屋久島におけるヤクシカの被害と対策の現状について
濱田秀一郎 九州森林管理局 計画部 自然遺産保全調整官(屋久島駐在)
- 「屋久島におけるヤクシカの生態と生息状況」
塩谷 克典 (財)鹿児島県環境技術協会技術部環境生物課参事
- 「ヤクシカが屋久島の生態系(植物相)に与える影響」
矢原 徹一 九州大学大学院理学研究院教授
- 「シカが生物多様性(昆虫)に与える影響」
三枝 豊平 九州大学名誉教授
- 「我が国における個体群管理の取組事例」
松田 裕之 横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

② 第2部／パネルディスカッション

「世界遺産を守るためにどうヤクシカと共に存していくべきか」

○ コーディネーター

吉良 今朝芳 鹿児島国際大学教授(非常勤)

○ パネリスト

- ・矢原 徹一 九州大学大学院理学研究院教授
- ・塩谷 克典 (財)鹿児島県環境技術協会技術部環境生物課参事
- ・松田 裕之 横浜国立大学大学院環境情報研究院教授
- ・杉浦 秀樹 京都大学野生動物研究センター准教授
- ・三枝 豊平 九州大学名誉教授
- ・荒田 洋一 樹木医(屋久島在住)

5 参加申し込み

参加を希望される方は、電子メール、FAX又は郵送で、お名前、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)を下記までお知らせ下さい。

申込先／(社)日本森林技術協会 森林環境部 高橋純一/渋谷僚

〒102-0085 東京都千代田区六番町七番地

T E L 03-3261-6590 F A X 03-3261-3840

E-mail junichi@jafta.or.jp